

2012年6月15日
株式会社コロナ

～第14回電力負荷平準化機器・システム表彰～ 「コロナ エコキュート」が4年連続の受賞

株式会社コロナ(本社:新潟県三条市 社長:内田 力)は、6月13日東京日本橋ロイヤルパークホテルで行われた、一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター(理事長:小宮山 宏)主催の第14回電力負荷平準化機器・システム表彰において、「コロナ プレミアムエコキュート」が「一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター理事長賞」を受賞しました。コロナエコキュートは本年の受賞で2009年から4年連続受賞^{*1}の栄誉となりました。

(電力負荷平準化機器・システム表彰とは、優秀な電力負荷平準化機器あるいはシステムを表彰することにより、電力負荷の平準化対策を進めその機器やシステムの一層の普及および社会への啓蒙を図ることにより省エネルギー、地球温暖化ガス削減に貢献することを目的としています。)

当社は、省エネに関するヒートポンプユニットとタンクユニットの改善に毎年取り組んで参りました。本年度の受賞機器は、更なる性能向上だけでなく、実際に使用されているお客様の意見を取り入れ、使いやすく、しかも節電・省エネにつながる機能を搭載することにより、環境性能の向上と製品完成度を高い次元で両立していることを評価頂いたと考えております。

当社は、2001年4月に家庭用エコキュート^{*2}を世界で初めて^{*3}開発・販売し、その後も地球温暖化対策の切り札とされるエコキュートの進化、普及に努めて参りました。今回の受賞に、心から感謝申し上げますと共に、今後もお客様の快適性を追及し、節電・省エネに貢献する機器開発に努めて参ります。

★ 受賞機器の主な特長

「コロナ プレミアムエコキュート」は、お湯をつくる技術の最適化(ヒートポンプユニット起動時のエジェクタサイクル^{*4}制御等の最適化による沸上温度の立ち上がりの改善)とお湯を貯め・使う技術の最適化(貯湯ユニットの「ふろ追いだき用熱交換器」及び省エネ給湯回路の改良)により、年間給湯保温効率(JIS)^{*5} 3.2(CHP-HX37AW1の値。CHP-HX46AW1の値は3.1)を達成しました。また、節約意識の高いお客様の要求に応える機能として、従来の「省エネ保温」機能、「今日の湯増し休止」スイッチに加え、使用湯量を学習し、適量のみを夜間に沸き上げる運転モード「使いきり」、お湯が不足しそうな時に、必要な湯量を確保できる「タンク湯増し」機能を採用した製品です。



受賞機器:コロナ プレミアムエコキュート
CHP-HX37AW1(370L)
CHP-HX46AW1(460L)

本件についてのお問い合わせは下記へお願いいたします。

株式会社コロナ 広報室 <http://www.corona.co.jp>

〒955-8510 新潟県三条市東新保7番7号 TEL:0256-32-2111 E-mail:info@hode01.corona.co.jp

※1:第11回(2009年)「コロナプレミアムエコキュート HX シリーズ」

経済産業省 資源エネルギー庁長官賞

第12回(2010年)「コロナエコキュート 多機能シリーズ」

財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター理事長賞

第13回(2011年)「コロナエコキュート 寒冷地仕様」

財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター理事長賞 を受賞しております。

※2:「エコキュート」の名称は、電力会社・給湯機メーカーが自然冷媒 CO₂ヒートポンプ式給湯機の愛称として使用しているものです。

※3:コロナは2001年4月、家庭用自然冷媒CO₂ヒートポンプ給湯機エコキュートの販売を始めました。

※4:「エジェクタサイクル」とは冷凍サイクルにエジェクターを採用してヒートポンプの効率を向上させるものです。

エジェクス/EJECS は(株)デンソーの登録商標です。

※5:年間給湯保温効率(JIS)は、日本工業規格 JIS C 9220:2011 に基づき、ヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量及び保温熱量を表したものです。ふろ保温機能のあるものは年間給湯保温効率(JIS)とし、以下の式で求められます。

年間給湯保温効率(JIS) = 1年間で使用する給湯とふろ保温に係る熱量 ÷ 1年間に必要な消費電力量
地域や運転モードの設定、ご使用状況等により異なります。

年間給湯保温効率(JIS)の算出時の条件:

着霜期高温加熱条件:外気温(乾球温度/湿球温度)2℃/1℃、水温5℃、沸上げ温度90℃

冬期給湯保温モード条件における沸上げ温度70℃、着霜期給湯保温モード条件における沸上げ温度72℃。